

健やかで心豊かな生活のために【DMA】

花王のアプローチ

花王は、世界の人々の「清潔」「美」そして「健康」を願い、豊かな生活文化の実現に貢献する企業です。社員が公私共に充実した日々を過ごすベースとなるのは「健康」であり、健康な社員と家族があって初めて事業が発展し、社会に貢献できるものと考えています。

また、花王グループの資産のうち、最も重要なのは「人」であり、人財活用のベースとなる健康支援、健康づくりに積極的に推進しています。2008年に「花王グループ健康宣言」を社内外に発信し、健康づくりのPDCAサイクルで健康づくりを推進する「健康経営」に取り組んでいます。

社会的課題と花王のアプローチ

花王では、会社と健康保険組合が協働で社員と家族の健康支援に取り組むことで、健康な社員や家族を増やし、元気で活力ある職場を通して、よりよい企業活動を行なうことをめざしています。

また、生活習慣改善を奨励したり、積極的な保健指導を行なう等の予防的な取り組みにより、医療費の増加を抑制する努力を継続しています。

快適職場推進の観点から、メリハリのある働き方の推進による長時間労働の抑制、管理者向けのメンタルヘルス研修等に注力しています。

さらに、花王社員の健康づくりに活用しているプログラムは、社外にもサービス提供を行っており、地域や職場の健康づくりに利用されています。花王での取り組みが、社会・地域へ波及し社会全体の健康寿命の延伸につながることを願っています。

主な活動

- ・ 健診での有所見者の再検査を徹底し、必要により早期治療に導き、生活習慣病およびがん関連疾病を削減する
- ・ ジェネリック切替勧奨による医療費の削減
- ・ 就業マネジメントの徹底
- ・ 受動喫煙の防止
- ・ 家族(被扶養者)の健康支援

プログラム例

- ・ 内臓脂肪と生活習慣チェック
- ・ しっかり食べて太りにくい食事法(スマート和食)
- ・ 職場ぐるみで若々しい歩行をめざすプログラム(ホコタッチ)

方針

いきいきとすこやかな毎日を
花王グループ健康宣言

私たちは、日々いきいきと
健康づくりに取り組み、
すこやかで心豊かな生活の実現をはかるとともに、
元気で活力ある職場を通し、
お客様と共に感動する会社をめざします。

健康意識(ヘルスリテラシー)の高い社員づくりをめざして

花王では「ヘルスリテラシーの高い社員を増やす」ため、健康づくり活動の見える化を進め、PDCAサイクルを回しながら社員の健康度を上げていく「健康経営」に取り組んでいます。

花王の考えるヘルスリテラシーの高い社員とは、以下の通りです。

1. 健康診断の結果を見て自分の生活習慣を見直し改善を図る社員
2. 産業医だけでなく、必要に応じて健康データを見てアドバイスをもらえる医師を持つ社員
3. 自分の心の状況を確認し、必要に応じて相談できる人を持つ社員

「健康づくり」5つの取り組み

会社として最低限行なうべき「健康管理」のみならず、社員が自ら健康を維持増進することを「健康づくり」と呼び、5つの取り組みを中心に実施しています。

1. 生活習慣病
2. メンタルヘルス
3. 禁煙
4. がん
5. 女性の健康

体制

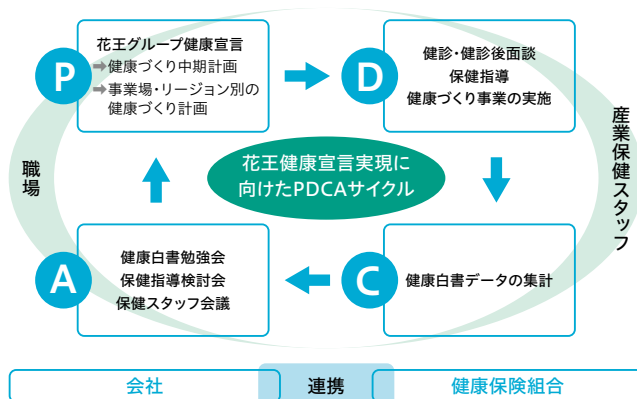
健康づくりマネジメントシステムの「見える化」

「見える化」の取り組みとしては、2009年から前年の健康データ(問診、健診、就業、疾病等)を個人が特定できない形で統計的にまとめて全国18の健康相談室に提供しています。

各健康相談室では、担当エリアの健康データをもとに、保健事業計画を立案・実施しています。

担当エリアの人事総務担当者と産業看護職が共に各種健康データを分析し対策立案を学ぶ健康白書勉強会を2009年から毎年開催しています。

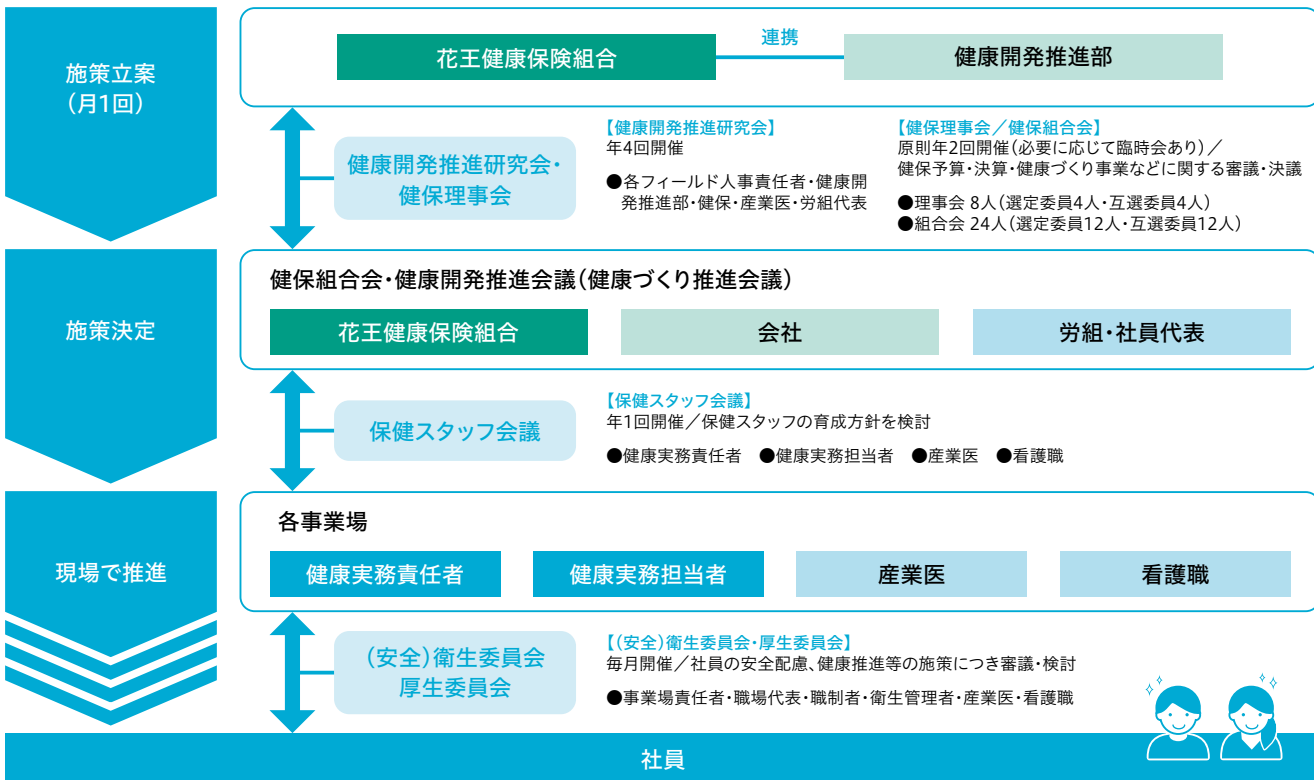
健康づくりマネジメントシステム



健康づくり推進体制の「組織化」

健康づくり施策の立案は、会社と健康保険組合が一体となっていない、月に一度、定期的なミーティングで議論しています。主要施策については、社員代表も交えた健保組合会議員等やワーキンググループで検討したうえで、全社の健康づくり推進会議で施策を決定します。推進施策は各事業場・支社の「健康実務責任者」「健康実務担当者」が、産業医・看護職と共に取り組んでいます。

健康づくり推進体制



教育と浸透

社員に向けて

- ・「花王グループ健康宣言」を全社員に配布するとともに、社長より説示等で「花王グループの成長には健康であることがベースであり、花王グループ全体として健康経営を推進する」「社長自らも健康目標を立てて実行する。社員一人ひとりも今年の健康目標を立てて、実行してほしい」等、折に触れ、健康経営に関し言及しています。
- ・5つの取り組みを中心に社内ですまざまなキャンペーン、セミナー、各種健康増進活動を展開しています。

全社健康推進活動展開

- ・Web-QUPiO[※]登録者：12,560人(49%)
- ・健康宣言参加者：465人(4%)
- ・春のウォーキングキャンペーン開催：3,257人参加(家族含む)
- ・禁煙マラソンキャンペーン開催：243人参加
- ・機関紙やポスター等による健康情報の提供：年2回約27,000人対象

※ Web-QUPiO
健康情報発信・健診結果閲覧・生活習慣改善記録・各種キャンペーン参加ツール

各事業所での健康推進活動展開

(イベント型/セミナー型/キャンペーン型を企画)

- ・生活習慣病関連：運動・栄養セミナー、体力測定、健康フェア、産業医講話等⇒439回開催、のべ8,782人参加
- ・女性の健康：女性セミナー、更年期セミナー、30歳節目研修、食改善セミナー⇒5回開催、のべ706人参加
- ・禁煙：禁煙セミナー、禁煙週間、禁煙マラソンキャンペーン⇒15回開催、のべ2,025人参加
- ・メンタルヘルス：メンタルヘルス研修、BA(美容販売員)・新入社員・昇格者セミナーにおけるメンタルヘルス研修⇒41回開催、のべ3,376人参加

保健スタッフの育成

- ・年に一度、健康実務責任者・担当者と産業医看護職が集まる「保健スタッフ会議」を開催し、方針に対する意思統一と情報交換を図ります。
- ・健康データの見方や産業保健計画の立案方法を学ぶ「健康白書勉強会」、看護職の保健指導力向上を目的とした「保健指導検討会」等を実施しています。

中長期目標

花王グループ全体のありたい姿

1. 生活習慣病関連疾病による在職中の社員の死亡ゼロ
2. 生活習慣病関連の重症疾患発症の半減化
3. メンタル疾患発症者とメンタル疾患による長期休業者の減少

ヘルスリテラシーの高い社員をめざして

1. 健康診断結果を見て、自分の生活習慣を見直し改善することができる。
2. 産業医以外にも必要に応じて自分の健康データを見てアドバイスする医師を確保する。
3. 自分の心の状況を確認し、必要に応じて相談できる窓口を確保する。

2016年の実績

【社員の健康づくり推進状況】

- ・定期健診受診率：99.6%
- ・健診有所見者の再検査受診率：90.7%
- ・朝食を週3回以上食べる社員：75.7%
- ・運動を週1回以上する社員：43.5%
- ・睡眠で十分な休息が取れている社員：63.3%
- ・たばこを吸わない社員：73.8%
- ・メタボリックシンドローム該当者予備軍：男性31%、女性6%
- ・特定保健指導対象者：男性19.0%、女性6.9%
- ・特定保健指導実施率：63.2%(2015年)

ステークホルダーとの協働

健康サービスの社会・地域への波及

花王で開発した効果的な健康サービスを外部の職域や地域にも提供し、生活習慣病やロコモティブシンドローム（運動器症候群）などの社会的健康課題の予防に役立てていただいています。

代表的なものでは、一般社団法人日本肥満症予防協会と連携して実施している「花王内臓脂肪みえる化ステーション」、または東北復興支援として福島県の仮設住宅での活動量とコミュニケーションの向上のために配布している花王オリジナルの歩行計「ホコタッチ」などがあります。2016年はのべ約100カ所、2万人を超える方々にご利用いただきました。

- ・内臓脂肪みえる化ステーション：社外13回 約5,000人参加
- ・生活習慣測定会：社外45カ所、社内20カ所（計約7,000人参加）
- ・ホコタッチ：契約先10カ所、スポット数200カ所（計約10,000人参加）
- ・スマート和食（花王健康ごはん：社内8カ所）

2016年5月からは、「地域での継続した健康づくりの実現」という共通テーマのもと、一般社団法人りぶらす、石巻専修大学人間学部山内研究室と協働し、宮城県石巻市において地域の高齢者の健康づくりに取り組んでいます。花王は、メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドロームについてのセミナーや内臓脂肪測定、歩行解析などの健康チェックに協力しています。この取り組みを通じて、地域の人々の健康意識を高めることで、要介護者の増加抑制や、社会保障費の低減、介護の担い手不足の解消にも寄与することをめざしています。りぶらすでは、2016年の活動効果として、347万円の予防医療効果、1千890万円の予防介護効果を試算し、報告しています。*

2016年9月には、宮城県と「健康長寿社会づくりに向けた連携協定」を、2017年1月に山形県および日本肥満症予防協会と三者で『健康長寿日本一の実現』に向けた連携協定を締結しました。いずれも、花王が長年取り組んできた肥満やメタボに関する研究知見を活用して地域の健康課題の解決にご協力するものです。具体的には地域での内臓脂肪測定会やセミナーの開催等を県と連携して行ないます。山形県では、花王が自社従業員や家族の健康づくりで取り組んできたノウハウを地域の企業にご紹介するなどして、県が推進する「健康経営」の普及をお手伝いしています。

健康に役立つ製品の販売と並行して、こうした自治体との連携活動を通じて、社会の健康課題解決に貢献していきます。

* 一般社団法人りぶらす 第4期事業報告書
<https://www.slideshare.net/daigohashimoto3/4ver>

HCCとの連携

花王の関連会社であるヘルスケア・コミッティー（株）（HCC）とは、Web-QUPiOによる健康情報提供をはじめとする健康事業の取り組みを実施。「健康経営」の推進強化に向けた協働の取り組みを始めています。

他企業健保との情報交換

他企業健保との情報交換としては、通常のソリューション営業活動に加え、HCCが毎年開催するHCCユーザー研究会に参加しています。ここでは、国の政策・市場の動向や、HCCの考え方・サービスの方向性等を提示し、参加健保間で議論し合っています。

2016年は、データヘルス計画に関する国の施策推進に各健保がどう対応しようとしているか等の情報交換を行ないました。さらに、一般社団法人保険者機能を推進する会主催の会議においても、参加健保間での情報交換を実施しています。

Web-QUPiO利用者の健康度改善状況

HCCが提供しているWeb-QUPiO利用の有無（他社・花王を含む）で肥満度の変化を比較したところ、体重や生活習慣改善の取り組みなどを記録している利用者は、未ログイン者よりも優位に肥満度の減少が見られ、特にBMI \geq 25（肥満群）ではその差が顕著に表れています。

Web-QUPiOによる健康情報提供の例

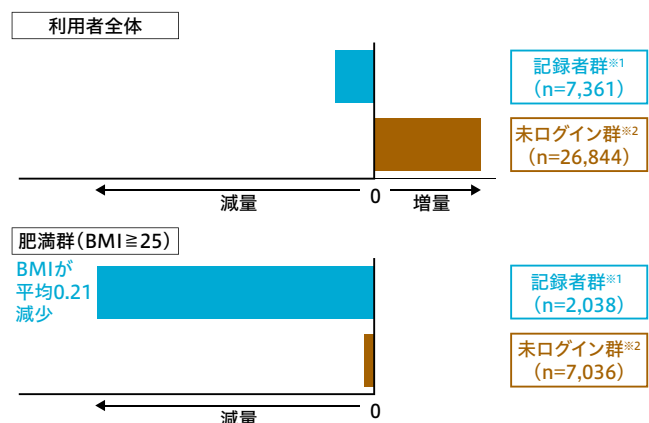


健康診断結果の見え化（肥満、血圧、脂質、肝機能、血糖の12項目の健診数値をレーダーチャート化）
 青エリア：正常、黄エリア：注意、赤エリア：要受診



健康年齢を算出し、個性の高い健康改善情報を提供

Web-QUPiO利用有無による肥満度（BMI）変化量の差



※1 2015年4月～2016年3月の期間に初ログインした群
 ※2 Web-QUPiOへ一度もログインをしていない群、ランダム抽出

具体的な取り組み

禁煙への取り組み

日本

公共の場での全面禁煙など社会からの要請の高まりに合わせて、健康で快適な職場を実現するため、2018年1月から就業時間内禁煙を開始します。これに先立ち、社員の健康リスクの軽減と受動喫煙防止のため、喫煙所の整備・改修を進めるなど、より一層の禁煙支援を行なっています。また、各事業場で分科会を開催して、社員の声も取り入れて就業時間内禁煙を実現していきます。

- ・2016年5月に花王グループ「禁煙への取り組み」方針をグループ内に発信し、2018年1月より就業時間内禁煙に取り組むことを周知
- ・社員の声も取り入れて就業時間内禁煙を実現するため、各事業場で分科会を開催
- ・就業時間内禁煙に向けた講演会を開催
- ・花王グループ禁煙マラソンを2016年1月と5月に実施。計243人参加(うち禁煙達成者85人)(参加者前年比399%増)
- ・花王健康保険組合より禁煙達成者への禁煙治療費用補助を19人に対して実施



就業時間内禁煙告知ポスター

今後も、2018年1月の就業時間内禁煙に向けた啓発活動を実施していきます。

- ・イントラネットで禁煙動画の配信を開始
- ・禁煙ポスター8種類を喫煙所に掲示
- ・各事業場にて禁煙相談会を開催

メンタルヘルス対策の推進

グローバル

より予防的なメンタルヘルス対策推進のため、ストレスチェックを実施、事後フォロー、面談勧奨に努めています。複数の相談窓口(外部EAP(従業員支援プログラム)、社内カウンセラー、各事業場・支社の健康相談室等)により、さまざまな相談に対応しています。管理者向け、セルフケア等の研修も計画的に実施しています。

2016年の取り組みと実践(グローバル)

- ・ストレスチェック実施：96.3%が受検
- ・高ストレス者向け面接・相談実施
- ・社内カウンセラーによる海外勤務者向け相談窓口設置

2016年の取り組みと実践(日本)

- ・管理者向け研修：6回開催
- ・セルフケア研修：35回開催
- ・外部EAPの相談窓口を記載したマグネットを360人に配布
- ・外部EAPの利用率：3.67%/件→5.73%/件に増加
- ・社内カウンセラーカウンセリング実績(キャリア面談中心)：11,276人



メンタルヘルスセルフケア研修

今後は、ストレスチェック結果を踏まえ、ストレスチェック後の個別フォロー、ケアを行なうとともに、職場環境の改善を推進し、働きやすい職場の実現に取り組めます。

ヘルスリテラシーの高い社員の育成

グローバル

ヘルスリテラシーの高い社員を育成するため、ポピュレーションアプローチ（健康な人も含めた集団全体へのアプローチ）、個別アプローチ（健康リスクを抱える人へのアプローチ）の両面から、社員の健康づくりをサポートするとともに、社員の気づきを促す活動を積極的に行なっています。

2016年の取り組みと実践(グローバル)

(プログラムのグローバル展開に向け、一部の社員から取り組みを実施しています)

- ・ Web-QUPiO登録者：12,560人(49%)
- ・ 健康宣言参加者：465人(4%)
- ・ 春のウォーキングチャレンジ参加者：3,257人(家族含む)

2016年の取り組みと実践(日本)

- ・ 生活習慣&内臓脂肪測定会：21回計2,054人参加
- ・ 社員食堂で「花王健康ごはん」を国内6事業場で提供
- ・ 健診での有所見者の再検査受診勧奨の強化：受診率87.8%
- ・ 特定保健指導の徹底：実施率63.2%
- ・ 家族(被扶養者)の受診勧奨の強化



ヘルスリテラシーを高める諸冊子とWeb-QUPiO